



埼玉県NPO基金 ニュース



* CONTENTS *

- H25年度寄附者紹介/御挨拶 …… P 2～P 3
- H25年度NPO基金事業実績 …… P 4
- H25年度NPO基金事業報告 …… P 5～P 21
 - ◎ 共助社会づくり支援事業 (P 5～P 6)
 - ◎ NPO活動促進助成事業
 - ・NPO活動サポート事業 (P 7～P 12)
 - (分野指定・寄附者によるネーミング事業)
 - ・みんなでサポート事業 (P 13～P 17)
 - ◎ 共助モデル推進事業 (P 18)

- ◎ 地域課題解決型協働事業 (P 19～P 20)
- ◎ NPO元気なまちづくり助成事業 (P 20)
- ◎ 中核的NPO育成事業 (P 21)
- ◎ 地域の共助社会づくりの担い手支援事業 (P 21)
- H26年度NPO基金事業の紹介 …… P 22
- NPO基金を支える3つの寄附方法 …… P 23
- 寄附のお願い/「埼玉県NPO情報ステーション」、
facebook「Saitama共助Style」の紹介/お問合せ先



平成25年度 寄附者一覧

御支援ありがとうございます
ございました



平成25年度の寄附合計額：10,437,392円

企業・団体等の皆様

トキタ種苗株式会社 様
守屋八潮建設株式会社 様
株式会社アプローチ 様
水辺環境再生さいたま 様
有限会社ノリス 様
キリンビールマーケティング株式会社埼玉支社 様
埼玉音楽文化協会 様
株式会社富士薬品 様
NECソフト株式会社北関東支社 様
産経商事株式会社 様
大蔵屋商事株式会社 様
NPO法人 世界の人々に教育の機会を与える会FACE 様
国際ロータリー第2770地区 様
有限会社中里商店 様
株式会社小山本家酒造 様
埼玉県遊技業協同組合 様
正和工業株式会社 様
一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会 様
アサヒビール株式会社埼玉統括支社 様
一般財団法人 さいたま住宅検査センター 様
一般社団法人 埼玉県医師会 様
株式会社たんぼぼ 様
公益社団法人 全日本不動産協会埼玉県本部 様

匿名希望 3団体 様

※寄附申込順

個人の皆様

石井 清江 様
田島 和雄 様
丸木 和子 様
須田 沃 様
相良 節子 様
菅山 修二 様
原口 文夫 様
野中 明彦 様
河登 一郎 様
福田 望 様
小林 克彦 様
田坂 英樹 様
井上 一紀 様
志塚 昌紀 様
中島 卓也 様
笠井 千秋 様

匿名希望 13名様

※寄附申込順

NPO基金の募金箱に
寄附していただいた皆様、
ありがとうございました。



御挨拶

「埼玉県NPO基金」は、平成16年度に創設して以来、多くの皆様からの御支援をいただいています。

皆様からの御厚志は、子育て支援やまちづくり、環境保全など様々な分野で課題解決に取り組むNPOの活動支援に活用させていただいております。

このたび、皆様からの御寄附を原資として実施した平成25年度事業の成果を報告書としてまとめました。地域における課題の解決やまちづくりに積極的に取り組むNPO活動の一端を御理解いただければ幸いです。

県では今後も、共に支え合う社会の担い手となるNPOの活動を支援することで、地域のつながりを強め、「日本一の共助県」の実現を目指してまいります。

皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。



埼玉県知事 上田清司



感謝状贈呈式

NPO基金へ多大な寄附をいただいた皆様への感謝状贈呈式を開催しました。 ※開催日順



石井清江 様



トキタ種苗株式会社 様



キリンビールマーケティング株式会社
埼玉支社 様



株式会社小山本家酒造 様



埼玉音楽文化協会 様



株式会社富士薬品 様



産経商事株式会社 様



アサヒビール株式会社
埼玉統括支社 様



正和工業株式会社 様



一般財団法人さいたま住宅検査センター 様

このほか3名の皆様へ感謝状を贈呈しました。

平成25年度 NPO基金事業実績

平成25年度にNPO基金を活用して行った事業実績は以下のとおりです。各事業の採択団体からの事業報告書はホームページ「NPOコバトンびん」に公開しています。（※「NPOコバトンびん」については裏表紙をご覧ください）

共助社会づくり支援事業

(P5～P6)

NPO法人が市町村等と連携し、地域課題を解決するために実施する取組に対して助成しました。

	助成件数	助成金額合計
①NPO法人及び市町村が連携して実施する取組	2件	727千円
②上記を含め、3主体以上の連携による取組	4件	3,773千円
計	6件	4,500千円

NPO 活動促進助成事業

(P7～P17)

【NPO活動サポート事業】(P7～P12)

NPO基金の「分野希望寄附」を原資に、NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する独自性や先駆性のある事業に対して助成しました。

	助成件数	助成金額合計
①分野指定枠	4件	3,629千円
②ネーミング事業	6件	4,407千円
計	10件	8,036千円

【みんなでサポート事業】(P13～P17)

NPO基金の「団体希望寄附」を原資に、基金登録団体の日常の活動に対して助成しました。

助成件数	助成金額合計
22件(21団体)	7,433千円

共助モデル推進事業／地域課題解決型協働事業

(P18～P20)

【共助モデル推進事業】(P18)

NPOが「つなぎ役」となり、地域における安全・安心向上、子育てや高齢者支援などの共助の仕組みを構築する事業に対し助成しました。（H24年度からの継続事業を対象とし、H25年度で終了しました。）

【地域課題解決型協働事業】(P19～P20)

NPOと行政や企業、大学、地域団体等の多様な主体が協働し、福祉や環境、子育てなど地域社会が抱える課題の解決に取り組む事業に対し助成しました。（H23年度からの継続事業を対象とし、H25年度で終了しました。）

	助成件数	助成金額合計
共助モデル推進事業	3件	1,308千円
地域課題解決型協働事業	4件	1,496千円
計	7件	2,804千円

NPO元気なまちづくり助成事業

(P20)

NPOが活動する地域の拠点を増やすとともに、住民交流の機会を創出し、地域で支え合うという共助意識を高め、地域をよりよくする「住民交流を目的としたまちづくり」のためにNPOが取り組む施設整備に対して助成しました。

助成件数	助成金額
1件（活動拠点の整備事業）	1,819千円

中核的NPO育成事業

(P21)

県内NPO法人の認定・仮認定取得の促進のため、中間支援NPO法人が行うNPO支援事業に対し助成しました。

助成件数	助成金額
3件(2団体)	3,000千円

地域の共助社会づくりの担い手支援事業

(P21)

各地域振興センターにおいて、地域の共助社会づくりの一翼を担うNPOの運営力や広報力等の強化のためのセミナーや交流会等を開催しました。

事業費合計	777千円



共助社会づくり支援事業

【市町村を含む3団体以上と連携】

成年後見制度の普及と市民の共助システムによる利用促進事業

〈連携先市町村:川口市〉

特定非営利活動法人 市民後見かわぐち(川口市)

【団体紹介】 認知症や精神・知的障がいなどで判断能力が不十分になった方の生活や財産を守る制度が成年後見制度です。東京大学で市民後見人養成講座(125時間)を修了した人達で設立されたNPO法人です。現在23人で、かわぐち市民パートナーステーションを拠点として、セミナーや相談会を実施しております。どなたでも入会できます。

【事業概要】川口市、川口市社会福祉協議会、川口市内障害者施設運営団体連絡会と連携して成年後見制度の普及を目指して、大小あわせて13回のセミナー、相談会を実施し、合計637人が受講されました。関心の深い方には共助サークルの【ささえ愛かわぐち】に入会して頂きました。ここでは親族の後見人になる方、後見人を付けてほしい方、市民後見人になりたい方がおります。49人が入会されました。会員同士で支え合うことにより、信頼され、より安く、安心して成年後見制度の利用ができるように、当法人はセミナーや相談会等にて支援していきます。

【今後の展開】 助成金で購入したPC、プロジェクター、スクリーンを大いに活用して、出前講座をこまめに開いて、正会員、賛助会員、【ささえ愛かわぐち】の会員の増加に努めます。実際に親族後見人、法人後見の受任、一人暮らしのお年寄りには任意後見制度の利用実績を増やしていきます。今回連携した川口市、社協、連絡会に加えて、地域包括支援センター、障害者相談支援センター、民生委員の方、ケアマネジャー、ケースワーカーのみなさんとも、ネットワークを構築してまいります。



「明日備(あすび)場 うたのえき」

〈連携先市町村:志木市〉

特定非営利活動法人 志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ(志木市)

【団体紹介】地域の人们自らが、スポーツ・レクリエーション・健康づくりを通じて、自分の地域の課題を解決することを目的とする総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ(通称:(特)クラブしっきーず)です。

【事業概要】少子高齢化・核家族化を背景に、人と人とのつながりが薄れがちです。そこで、市民の間に一人でも多くの顔見知りを増やすため、どなたでも立ち寄れる「あすび場」として、ステーションをオープンしました。

さらに、タテ(親子)やヨコ(同年代)ではない、ナナメ(近所や異世代)の関係を紡ぐツールに「音楽レク」を用いてステーションで交流したり、各町内会館におとどけしたりする『うたのえき』を行い、にほんのうたを歌い継ぎながら三世代を繋ぎました。

【今後の展開】場が開かれていることにより、近隣住民の安心感が生まれ、高齢者のとじこもり傾向の改善になりました。わらべうたなどの文化を次世代に伝える地域教育にもなり、市の次年度三世代交流事業として新たな展開の予定があります。



口腔トレーニング推進プロジェクト

〈連携先市町村:本庄市〉

特定非営利活動法人 ワクワクボード(本庄市)

【団体紹介】「協働のまちづくり」の考えのもと、行政と協働・分担、諸団体との提携によるまちづくりに関する事業を行うことで、“人とひととの絆”を大切に「安全で安心、元気なまちづくり」の実現に向かって頑張っています。

【事業概要】「いつまでもおいしく口から食事ができる幸せ」をキャッチフレーズに、まず初めにセルフチェックを行い、自分がどのような状態になっているかを認識してもらいます。次に改善するためにお口の健康体操を行いその次に器具を使って、飲み込み訓練と口周りの筋力アップのトレーニングを行いました。そして最後に器具をくわえたまま、ラジオ体操第1を行い、鼻呼吸の大切さを理解して講習会は終わります。

【今後の展開】既に本庄市で実施している「健康体操」と「口腔トレーニング」を同時に行いより成果を上げる「啓蒙システム」の構築を実行し介護予防に繋がります(2~3会場で実践)又、各自治会での啓蒙活動と数名のインストラクターの養成に着手します。



越谷市における空き家相談会の設立

〈連携先市町村:越谷市〉

特定非営利活動法人 越谷市住まい・まちづくりセンター(越谷市)

【団体紹介】越谷市及び周辺地域において、良好な住環境の維持管理や景観まちづくりの活動を支援し、良好な地域コミュニティの醸成を推進し、住宅地の資産価値向上に寄与すること。さらにこの活動を通し、住まいに関する新たなビジネスを創出し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。

【事業概要】住宅ストックを資源と捉え、空き家・空き室利活用の可能性を探り、地域住民の居住福祉に資すると共に、新しい公共事業を創出して地域経済の活性化を図ることを目的としています。

その一環として平成25年度は、ストックとなり得る空き家・空き室を顕在化するため、相談員の育成を行い、空き家相談会を設立しました。越谷市の協力を得て、月一回の相談会を実施しました。

【今後の展開】これまで数回開催した空き家相談会において得られた、空き家・空き室のストック情報の管理と発信をするために、空き家バンクを設立し、ストックの利活用を促したいと考えています。



【市町村と連携】

ふるさとおがのの明日を担う心豊かな人づくり事業

〈連携先市町村:小鹿野町〉

特定非営利活動法人 秩父盆地野球振興会(小鹿野町)

【団体紹介】当法人では、国民的スポーツである「野球」を通じた家庭、地域が一体となった子どもの育成を行い、子ども達が「故郷を大切に作る心」を醸成する活動をしております。

【事業概要】秩父郡市内の中学生を対象とした野球教室や地元小鹿野町の小学生対象の野球教室、親子キャッチボール教室では、子どもたちの基礎体力、技術の向上と家族、地域住民との交流を創出することで、人とのふれあいを体験させ、こども達への秩父地域への愛着心や地域住民の意識の高揚が図られたと思います。

地域団体とも協力しながら、野球大会も実施することで地域経済への貢献や都市部の住民との交流も積極的に行っており、ひとづくりとともにまちづくりにも大きく寄与することができました。

【今後の展開】当法人の事業により、こども達の地域に対する愛着心を醸成することができました。今後は地域から離散しはじめる年代の地元の高校生を取り込んでいく活動を展開していき、現在の活動メニューの他にも地域活性化イベント実施・協力を継続していきたいと考えております。



入間を元気にする人財塾の合同運営

〈連携先市町村:入間市〉

特定非営利活動法人 まちづくりサポートネット元気な入間(入間市)

【団体紹介】「元気な入間まちづくり基本条例」に基づく推進組織として、入間市市民活動センターを拠点に、同センターの活性化、窓口での市民活動相談、ホームページやニュースレター、登録89団体の交流会、研修講座などの中間支援活動をしています。

【事業概要】人財塾の運営により、シニア世代のまちづくりへの参加を促し、市内の市民活動団体とのマッチングを行い、市民活動の活性化に貢献する取組をしました。

具体的には「まちサポテーブル」を市と協働で設置し、市民活動団体に呼びかけて一緒に体験プログラムを考え、市民活動の新しい担い手の創出をめざす人財塾を合同運営しました。

【今後の展開】この取組に市民活動団体12団体が参画し、受講生35人が入塾、25人が塾を修了し、すでに10人ほどが新たな担い手として市民活動団体に入会しました。今後はこの第一期生のフォローアップと第二期の人財塾に取り組む予定です。



みどりと川の 再生

里山再生と森林資源有効活用事業

特定非営利活動法人森臨隊(小川町)

【団体紹介】放置され荒れた森林・里山を再生させ保全・維持しながら、その活動で生まれる林産物を再生可能エネルギーである薪炭燃料、キノコ栽培の原木、木工用素材、肥料用のチップ等に活用することで、森林資源を無駄なく利用しています。

【事業概要】昨年度に再生させたエリアの保全活動を行いながら、新たに1,500㎡の下草や篠竹刈り、育ちすぎた樹木の伐採を行いました。これにより里山の陽当たり等が回復し、切り株からの萌芽更新を促して、里山の再生・若返りを図ることができました。また、伐採した樹木は、薪炭燃料、キノコ栽培原木、木工素材とし、刈り取った篠竹類と樹木の小枝は肥料用のチップに加工して、すべてを林産物として無駄なく活用できるようにしています。

【今後の展開】林産物としての活用は、当初の目的を達成できました。森での活動に関しては障害者施設や、環境保全に関わるNPO法人や団体など多方面から問合せがあり、今後も同様の事業を継続させながら幅広い分野へ発展させていく予定です。



みどりと川の 再生

「森と結ばれた木育」担い手育成拠点事業

特定非営利活動法人木の家だいすきの会(所沢市)

【団体紹介】子どもたちに生きた自然素材に触れさせ、木の良さ、木の大切さを学ぶ機会を提供する「すぎんこプロジェクト」に平成20年度から取り組んできました。

【事業概要】主に所沢市内の学童保育室を拠点に国産の木材を保育室床に張る活動を行ってきました。平成24年度は、学童指導員に対する木育指導を行い、平成25年度は、児童・保護者から地域住民へと対象を広げた活動へ展開することができました。この中で「巣箱をつくって、森へ行こう!」という企画では、親子で森の木に目を向けてもらうためのきっかけづくりとして、身近な雑木林に自分たちで作った巣箱を設置することができました。

【今後の展開】この地域には雑木林による豊かな自然が残されていますが、その保全は人が管理してはじめて維持できるものです。子供たちが継続して林に足を運ぶ動機になる活動を継続していきます。



NPO活動サポート事業(ネーミング事業)とは

NPO活動サポート事業には、「分野指定枠」と「ネーミング事業」があります。

そのうち「ネーミング事業」とは、埼玉県NPO基金に50万円以上の「分野希望寄附」をしていただいた場合に、寄附者の方に県が実施する助成事業の愛称を付けていただける制度です。

◆◆ネーミングの基本構成◆◆

企業名や商品名等と、支援したい分野を組み合わせたものとなります。



◆◆平成25年度ネーミング事業一覧◆◆

ネーミング事業名	分野	助成団体及び事業名
一般財団法人さいたま住宅検査センター まちづくり・住環境向上事業	まちづくり (住環境向上に関するもの)	(特) 東上まちづくりフォーラム 企業OBのシニア層が分譲マンション管理組合を支援する「防災委員会と修繕委員会代行」プロジェクト
キンビールマーケティング(株)埼玉支社 地産地消・食育応援事業	地産地消 ・食育	(特) 秩父こみにてい 高校生によるフードクリエイティング・プロジェクト「ハッピー農業」
武蔵野銀行 子育て支援事業	子どもの 健全育成	(特) 子育てステーションたんぼぼ 地域コミュニティづくり「地域のコミュニティカフェ」の開催 (認・特) メイあさかセンター 多文化共生を学ぶ・マレーシア小学生と一緒に！
金紋世界鷹 みどりと川の再生 環境保全事業	みどりと川の 再生	(特) 東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム 浄化槽にやさしいマナー啓発と水辺再生事業への取り組み (特) 水のフォーラム 上下流で取り組む森林管理・啓発事業

平成25年度ネーミング事業で募集した「株式会社富士薬品 ドラッグセイムス 環境保全支援事業」については、審査の結果、採択に至った団体がありませんでした。平成26年度も引き続き、ネーミング事業として募集します。

◆◆NPOへの助成手続◆◆

原則として12月までの寄附を取りまとめ、翌年4月からネーミング事業として募集を開始します。

県が設置した有識者等で構成される委員会で審査を行い、採択を決定した事業(NPO法人)に対して県から助成金を交付します。採択されたNPO法人は、年度末に開催されるNPO基金事業報告会(一般公開)で事業の成果を発表します。



まちづくり

一般財団法人さいたま住宅検査センター まちづくり・住環境向上事業

企業OBのシニア層が分譲マンション管理組合を支援する「防災委員会と修繕委員会代行」プロジェクト

特定非営利活動法人東上まちづくりフォーラム(志木市)

【団体紹介】高齢者福祉、商店街活性化などの地域課題の解決や、パソコンや絵画教室など自分が持っている知識や技術の提供を行っています。商工会、自治会、商店街、各種福祉組織など一緒になって地域社会に溶け込んだ活動を行っています。

【事業概要】分譲マンションが抱える2つの問題を、地域の高齢者や経験者が支援する仕組みを作りたいと考え活動してきました。1つは、災害時の活動に対する事前準備で、埼玉県危機管理課作成の災害時マニュアルの普及活動を行いました。もう一つは、マンションの40%が抱える修繕積立金不足に関する問題で、大規模修繕の進め方や管理費削減のセミナーを行いました。また、埼玉マンション管理組合共助センターを開設し、個別相談を行っています。



【今後の展開】防災はマンション単体では対応できません。マンションでの防災対策の成功・失敗事例を共有し、行政や町内会との連携、さらには防災企業や地域企業と一緒に活動を行ってまいります。また、修繕費や管理費などに関しては、小規模セミナーを開きながら相談業務を継続していきます。

地産地消・食育

キンビールマーケティング(株)埼玉支社 地産地消・食育応援事業

高校生によるフードクリエイティング・プロジェクト「ハッピー農業」

特定非営利活動法人秩父こみにてい(秩父市)

【団体紹介】住民、行政、団体などとのパートナーシップのもと、住民が主体となった福祉活動とまちづくり及び秩父地域における芸術芸能活動振興を推進し、住民の生活向上ならびに街の活性化に寄与することを目的とて活動しています。

【事業概要】地域特産の食材や郷土料理を伝えていくため、NPO法人秩父こみにていが運営している「こみに亭」の調理場や会合スペースを使い、地元のお年寄りに聞く「昔の秩父食」講座を開催しました。これをきっかけに高校生達にオリジナルのメニューを考えてもらい、その成果の「新しい秩父食」を「古くて新しい秩父食コンテスト」で発表しました。また、秩父夜祭では高校生レストラン「食堂とんとん」を企画運営し、このメニューを観光客や市民に味わっていただきました。



【今後の展開】「こみに亭」は、高校生を中心にした幅広い人々が秩父の農作物と食文化を学習・体験し、秩父地域の食文化の継承と発展の拠点となっています。今後も地元の高校、商店街の協力を得て継続していきます。



地域コミュニティづくり「地域のコミュニティカフェ」の開催

特定非営利活動法人子育てステーションたんぽぽ(久喜市)

【団体紹介】久喜市を中心に地域で子育て中の親子をサポートしています。「地域で子育て」を考え、子育て中の親子と地域のコミュニティを大切に活動しています。

【事業概要】子育て支援は、子どもたちが生活する地域で受けとめ「地域で子育て」していくことが重要と考えています。今回の助成では、子育て親子と地域の人たちをつなげる地域のコミュニティづくり「地域のコミュニティカフェ」を開催しました。地域の人たちが集いやすい場所でカフェを開催し当団体の活動や子育てについて知ってもらい興味関心を持ってもらうことが課題です。地域の人たちと、関わりを持つ取組です。

【今後の展開】「地域で子育て」を実現できるよう、子育て中の親子だけではなく、地域の人たちに子育てへの興味・関心をもってもらい、地域に密着することを課題にしていきます。「地域のコミュニティカフェ」を常設していきたいと考えています。



多文化共生を学ぶ・マレーシア小学生と一緒に！

(認定・県指定) 特定非営利活動法人メイあさかセンター(朝霞市)

【団体紹介】子どもから高齢者までの生涯学習、国際化・情報化の学習と活動を基に、調査研究を行い、他団体活動の支援を行い、より良い生活が出来る地域づくりに寄与しています。認定NPOとして、他のNPOへの指導・助言も行っています。

【事業概要】マレーシアの児童生徒を招き、朝霞市内や戸田市、東京都荒川区の小中学校を訪問して音楽や英語の授業などに参加し、日本の子どもたちの英語によるコミュニケーションの実体験を企画、実現しました。また地元の多くの団体の協力を得て、30世帯でのホームステイや交流会を行い、日本とマレーシアの文化をお互いに学び合いました。交流会では朝霞市内よさこい踊りチームの発表やマレーシアダンスも披露、一緒によさこいダンスを練習し共演しました。マレーシアの児童生徒絵画作品を展示し多くの方々が鑑賞しました。



【今後の展開】「英語が通じて良かった」「伝えたい心が大切で、最初に言葉でないんだ」「次回もホームステイ引き受けます」との感想があり、大きな成果がありました。今後は、高校生の派遣についても取り組んでいきたいと考えています。



浄化槽にやさしいマナー啓発と水辺再生事業への取り組み

特定非営利活動法人東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム(戸田市)

【団体紹介】2001年世界水フォーラム京都大会を契機に設立しました。東京湾を要にして荒川、利根川、多摩川を結ぶ関東の水循環の再生と環境保全を目的に、排水や浄化槽のマナー向上と「埼河連(埼玉県河川環境団体連絡協議会)」の運営に取り組んでいます。

【事業概要】浄化槽は各家庭の資産であり、その維持管理もそれぞれで責任を負うものですが、行政では十分に指導が行き届かないことから、排水による河川の汚染が問題になっています。

そこで、行政・業者・住民が連携した管理徹底の取組とマナー向上の啓発活動を行いました。特に、下水道未整備地区を対象に、市と自治会の協力を得て8会場で講習会を開くことができました。

【今後の展開】行政・業者とNPOが一体となって浄化槽設置者に接する仕組みを構築することができました。8年前に全国最下位だった法定検査実施率も大きく改善し、河川の水質が確実に改善しつつありますが、引き続き自治会単位の講習会に取り組めます。



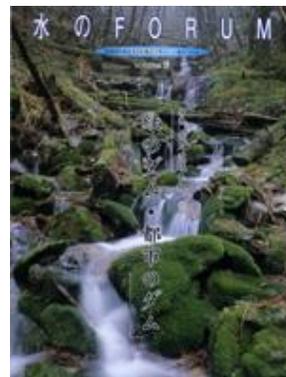
上下流で取り組む森林管理・啓発事業

特定非営利活動法人 水のフォーラム(さいたま市)

【団体紹介】機関誌『水のFORUM』発行。見沼田圃で循環型伝統農法による米作り。市民講座「さいたま・水とみどりのアカデミー」開催。これらが連携して、山・川・用水路・水田・排水河川・海とつながる“流域の健やかな水ネットワーク”保全に向けて活動しています。

【事業概要】今、山と海をつなぐ大地の水ネットワークと、その源である山のあり方が問われています。その要である森林の保全には、地球規模で果たしてきた役割を認識し、多面的機能を発揮させる管理が必要ですが、そのためには上下流で取り組まないと実現しません。当事業は、地球規模で見る森林の役割を学ぶとともに、上下流が連携して取り組む手法として森林認証制度を紹介しました。

【今後の展開】啓発運動第1弾として、当事業を下流部でスタートさせたにも関わらず、山林所有者が参加してくださったことは大きな成果です。これを突破口に活動を進め、できれば世界の認証制度(FSC、適切に管理された森林の木材を使用した製品であることを認証する制度)を埼玉に導入したいと考えています。



特定非営利活動法人在宅福祉サービスたすけあい日高(日高市)



古い、障がい、介護また育児などはどれも長く続きます。家族だけでは担いきれない一部を、市民の力で支援することを目指しています。この支援活動の中核がコーディネーターです。訪問調査に走り回り、支援計画を作成し、支援計画協力者を選定するという大変な作業です。このコーディネーターを中心に、70余名の協力者が参加し、毎月約200日余りの「小さなお手伝い活動」として支援活動を続けています。当初、男性の活躍の場は少ないかなと心配しましたが、病院通院の支援など、出番は多くあります。協力者の皆さんも、やりがいを持って活動しています。

特定非営利活動法人共生フォーラム(さいたま市)

私たち、共生フォーラムは、現在、「カンボジアの子どもたちから元気をもらおう大作戦！」という名のもとカンボジアでのNGO活動を積極的に展開しています。そして、日本の医療や福祉、NPO活動について知っていただくため、5名の留学生を受入れ、支援しています。はじめてのおつかいならぬ、はじめての電車、初めてのカップ麺、初めての寒さ、雪等、初めてづくしの日々の生活に戸惑いながらも、5名が「絆」チームとして頑張る姿から学ばせていただくことがたくさんあり、大変良い経験をした1年と3か月でした。県民の皆様のご支援に心よりお礼申し上げます。



特定非営利活動法人だいちの会(入間市)

私達は、重度障がい者の地域生活や自立を支援するための活動をしています。

活動内容は、障がい者が作った布製品等のカタログ販売や、地域イベントでの製品販売です。今回の助成金で実施したサポート事業は、多数の市民の参加があり、障がい者と一体となって楽しくかつ交流も図られ、充実した時間を過ごすことができました。



特定非営利活動法人ほっとポット(さいたま市)

ほっとポットでは、「今日のご飯が無い」「家がなくて外で寝るしかない」といった相談に応じ支援しています。今回「人づくり事業」として貧困問題の解決に向けた活動を詳しく・分かりやすく紹介したリーフレットを作成しました。「生きる」「護る」と書かれたリーフレットです。福祉や司法関係機関、講演等で配布しました。社会の課題に正面から取り組む姿勢がリーフレットで伝わり、「活動を応援したい」という声も届いています。



特定非営利活動法人聴導犬普及協会(ふじみ野市)

聴覚障がい者の日常生活をサポートする聴導犬の育成・普及啓発活動を行っています。聴導犬は動物指導センター等と連携をとり、捨て犬等から育成しているため、動物愛護にも寄与しています。

このたびは育成環境の整備ができ、新たに聴導犬の候補犬1頭、PR犬1頭を導入することができました。



特定非営利活動法人ほっとプラス(さいたま市)

地域住民との交流とホーム利用者の社会復帰のリハビリを目的として、地域イベントに参加しました。

ブース内に法人の活動紹介のポスターを貼り、地域の方々との交流を通じて広くPRし、地域に根差した活動であることを理解していただきました。

利用者にとっても、自ら作った和菓子を提供し収入を得たことで就労の喜びを体感するとともに、社会との接点を持つきっかけとなるなど大きな成果をあげることができました。



まちづくり

特定非営利活動法人NPO菜の花エコプロジェクト埼玉(坂戸市)

私たちが菜の花を栽培している地域では、近年、農地の宅地化が加速しています。さらに、「うちの畑を使ってほしい」という声も目立つようになり、耕作放棄地の広がりや止めようがありません。資源循環型のまちづくりを目指して活動している立場からは非常に残念な状況で、「これは農業で解決すべき問題だ」と無視できません。非営利を前提にした環境保全の運動体から脱却して、コミュニティビジネス的なモデルの構築が、地域に必要なNPOへとステップアップ出来るカギかもしれません。



NPO法人アーモ企画(久喜市)

電話や訪問による耐震・リフォームの勧誘が日常的に行われています。悪徳業者についてもマスコミで報道されています。反面、平成25年度末には消費税率引き上げに間に合うようにと、住宅の駆け込み需要も増えました。

住宅相談を通じて、高齢者・市民のコミュニケーションを深め、共力・共同の輪をすめています。



学術・文化・芸術・スポーツ

特定非営利活動法人埼玉県愛瓢会(所沢市)

「ひょうたん作品展示会」は、埼玉県愛瓢会の最も大きなイベントです。会場内には自然のままの「素瓢」から非常に手の込んだ「工芸作品」である見事な瓢箪作品が沢山飾られています。毎回多くの来場者に「本当に素晴らしい」と大変好評で、開催期間中は連日大にぎわいとなります。また、自ら体験してみたいと瓢箪の種を手にしていく方が年々増えています。



私達にとってもひょうたん文化が広がることは嬉しいことです。次回の「ひょうたん作品展示会」に是非ご来場ください。



(認定)特定非営利活動法人川口市民環境会議(川口市)



環境に対する子どもたちの気付きをとの思いのもと、十数年前から「エコライフDAY」をはじめとする様々な活動に取り組んできました。近年、地球温暖化をはじめ、私たちを取り巻く環境は厳しさを増し、その解決に向けては行政・企業・団体・一般市民が一体となって、より具体的に活動していく必要があります。このような環境下において、私たちは行政との共催事業である「環境フォーラム」、学校や老人福祉施設等の社会施設への「環境出前授業」、その他にも収益事業の展開も念頭に活動のすそ野を広げています。

熊高森づくりの会(熊谷市)

第6回熊高の森育樹祭は、11月4日、第37回全国育樹祭協賛記念行事として開催されました。当日は四歳の男の子から62年前の卒業生まで、それに在校生も加わって総勢206人が参加。

当会の賛助会員である竹下景子さんは「滝桜の苗木を熊高の森に植えさせていただいたことで、大きな震災があったことを皆で共有し、実際に木が育っていくことで未来へと繋がる思いも生まれます。こうした私たちの思いが次世代の人たちに伝わればいいなと願っています。」と語っています。



鴻巣の環境を考える会(鴻巣市)

元荒川の豊かな自然再生を目的に、鴻巣市内小学校の総合的な学習時間を利用して、元荒川の水質調査や、メダカ、フナ、ドジョウなどの自然観察を通じて生き物に感動し、省エネや節電などを考える体験学習を実施しました。こうした活動を通じて、地球温暖化防止対策に興味を持つ子供を育成する環境教育を推進し、さらに、水質調査、生き物観察、エコライフDAY2013などへの参加者の拡大につなげることができました。



特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会(さいたま市)

平成25年8月に行った研修見学会は、蓮田白岡衛生組合リサイクルプラザ、日本でのリサイクル率がわずか10%という衣料・繊維の回収・再資源化にグローバルな視点から取り組んでいる加須の繊維リサイクル事業者、行田浄水場にある県内最大の太陽光発電システムなどを訪問しました。



資源リサイクルの中で、古着・古布に注目し、回収率の低い古繊維類がどのようにリサイクルされるかについて、講演会を開催し、学びました。

今後も、家庭から出される資源を出来るだけゴミにしないよう、また、よりリサイクルしやすくするためどうすべきかという視点からできることを考え伝える活動をしていきます。



特定非営利活動法人東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム(戸田市)



埼玉県では、近代に入ってから明治43年(1910年)の水害や、昭和22年(1947年)のキャサリン台風による利根川大洪水があり、行田市中条堤が決壊して大きな被害を受けています。行田市中条堤の歴史は、埼玉県民の水害との戦いの歴史であり、今日の発展の基礎になっています。当法人が取材・編集に協力したこの資料「水と闘う地域と人々」を読んで多くの方に知ってほしいと願っています。

人権・平和

特定非営利活動法人 高齢者・障害者サポートクラブ(毛呂山町)

当法人は、成年後見人業務を主とし、被成年後見人の財産管理・身上監護及び相談支援活動等の人権擁護活動を行っています。

支援者の居住地、市町村役場、福祉施設、病院、金融機関、家庭裁判所等へ出向くことも多く、NPO基金の助成を活用して公用車をリースし、日々の活動に使用しています。おかげさまで、業務の迅速化・拡充が図られ、利用者様の満足度向上に役立っています。

今後も職員一丸となってニーズに応えるべく努力してまいります。



国際協力

(認定・県指定)特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター(ふじみ野市)

当法人は、問題を抱えた在日外国人の相談に応じたり、自立に向けた支援をしたりしています。DVに関する問題は外国人ならではの事情がからみ、解決はより難しくなります。情報を持ち合うことでDV被害者支援のスタッフが孤立することなく、誇りを持って活動を継続できます。また、外国人はDV被害者の状況を知る機会となり、DV被害者が一日も早く今の生活から脱却し自分を取り戻して、社会を担う市民としての自覚を持って生活をしていく指針となると思います。



特定非営利活動法人ivory space(さいたま市)

当法人は、多文化共生の視点に立って、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流を行うと同時に、地域社会を考えるキッカケとなることを志向しています。また、アイボリーサロンと銘打った茶話会では、各方面で活躍されている専門家を招いて、異文化やアジア地域理解に留まらず、身近な関心事や日本文化理解まで幅広いテーマで開催しています。ちょっとした関心や身近なところから世界が広がり、世界とつながる草の根活動をモットーとしています！



特定非営利活動法人燈台（北本市）

パキスタンからアフガニスタン国内へと難民救援活動を継続して25年以上経過しました。教育面では、アフガニスタンの将来を担う人材が輩出されつつあります。医療面では永年風土病（マラリア、リーシュマニア）の治療に取り組んでおり、公衆衛生改善と共に治療効果が表れてきています。

当法人の活動については、ホームページ、ニュースレターをご覧ください。

※ホームページ <http://www.jca.apc.org/~today87/>

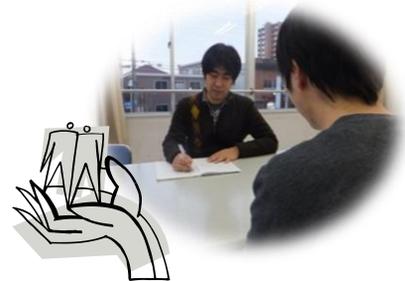


子どもの健全育成

（仮認定・県指定）特定非営利活動法人越谷らるご（越谷市）

この活動はひきこもっているなどで悩んでいる人が、気持ちを楽にして、ひいては次の一歩を踏み出すためのものです。ピア・カウンセリングということで、相談者が身構えることなく、安心して気楽に話せることを大切に活動してきました。

継続して来られる方や時々しか来られない方などその人の状況に合った形で相談に応じてきました。相談者は抱えているつらさなどを話すことで、その人自身の今の状況を整理、客観視し、次の一歩に踏み出すきっかけとなりました。



（認定）特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン（朝霞市）

さいたまチャイルドラインは、18歳までの子ども専用電話として、金・土曜日と年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日、午後4時から9時まで電話を開設しています。

全国のチャイルドラインと連携してフリーダイヤルでつながっていますので、埼玉県内の子どもは年末年始の6日間以外は、毎日無料で利用できるようになっています。

平成25年4月1日から平成26年2月28日までに、さいたまチャイルドラインに着信した電話は20,772本でした。

子どもたちからは生きることへの不安や疑問、友達との緊張関係、社会情勢の中での困惑や戸惑いなど毎日たくさんの電話があります。



特定非営利活動法人広域ジュニアバドミントンチームTeam Power Hitters Max（熊谷市）

小・中学生のバドミントン競技愛好者の大会を通して、技術力、体力、精神力の向上と人間力の養成に寄与することを目的に、彩の国熊谷ドームで大会を開催しました。まず、9月には第8回東日本オープンジュニアバドミントン大会（シングル戦）を開催し、小学3年生から中学1年生まで東日本の1都6県の42クラブ、368名が参加しました。また1月には、第3回になるチーム対抗戦を開催し、1都7県から42クラブ112チームの472名が参加し、日頃の練習の成果を出し合い、同世代の仲間たちと交流しました。



共助モデル推進事業

共生・共助・連帯
＝農村と街の交流を紡ぐ仕組みづくり＝

特定非営利活動法人
さいたま自立就労支援センター(さいたま市)

【団体紹介】平成16年以来、農業を基軸とした就労支援活動をしてきました。特に働く意欲があっても就労機会に恵まれない人達と共に耕作放棄地を耕し、自給自足の道を拓きました。また、限界集落化している農村との連携を目指し、村と街を繋ぐ活動をしています。

【事業の概要】 中山間地の農村の野菜及び地元の名産品を街の人達に紹介するイベントを大宮区と浦和区で計9回実施し仲間づくりに努めました。更に、さいたま市北区土呂町の社会福祉法人「いーはとーぶ」と共催で本庄市「いずみ亭」のそば打ち実演と即売会を2回実施し、農村と街の人々の交流の機会を作ると共に、街の高齢者や障害者、引きこもりの方々が気軽に立ち寄りお茶とおしゃべりを楽しめるサロンも併設しました。平成25年度は12月4日から2月12日まで4回の開催となりましたが、念願のサロンが開かれました。また、街の人々に農村の良さを知ってもらうため、史跡めぐりや農家の方々の話を聞く機会等もつくりました。



サロンの様子

「狭山安心お助け隊」運営支援及び運営コーディネーター活動の継続並びに業務改善活動

特定非営利活動法人コモンズ(狭山市)

【団体紹介】NPO法人コモンズは、地域住民がいつまでも「自分らしく」「安心して」「生き活きと」暮らせる社会を創造することを目的として平成23年9月に設立しました。コミュニティカフェ及び見守り便利屋活動「安心お助け隊」のサポート運営をしています。

【事業の概要】

①サポート体制の運営強化

サポートセンターは地域の高齢者等の無料相談窓口として、各種困りごと相談・応援を積極的に実施しました。お助け隊で可能な相談事項は速やかに対応すると共に、対応が難しい内容について専門関係団体と情報交換し対応しました。

②迅速な生活等応援活動

平成25年度は、前年度の約5倍、2,275件の生活応援支援等を実施しました。相談事項は概ね全てに対応し好評を得ることができ信頼を得ました。

今後は講習会等を通じ、応援活動の充実・体制の強化に努めます。

野良カフェ→



←サポートセンター

元気な団塊世代が障害者と世代間交流するための「社会人マナーと仕事に役立つパソコン講座」開催事業

特定非営利活動法人
生涯学習コーディネーター協会(さいたま市)

【団体紹介】

高齢者や障害者にパソコンの楽しさをお伝えしています。毎月定期的に障害者施設にパソコンを持って訪問しています。12月には年賀状を作成しました。活動にはシニアパソコンボランティアさんが参加しています。

【事業の概要】

8月に2日間で12時間のパソコン支援と社会人マナー支援の勉強会を開催しました。ここでは、「パソコンで年賀状を作成することを教える」をテーマに勉強しました。

11月と12月には年賀状作成講座を開催。干支の午のイラストを年賀状に貼り付けるところは皆さん楽しそうにパソコンを操作していました。各講座ともシニアパソコンボランティアさんに数名ずつ参加してもらいました。この活動に参加したシニアパソコンボランティアさんに、今後も活動の場づくりを提供していきます。そのためには今回活動に協力いただいた障害者施設や新しい施設も増やしていきます。パソコンの楽しさを伝えていきます。



地域課題解決型協働事業

子育て仲間で支え合い保育事業

特定非営利活動法人新座子育てネットワーク(新座市)

【団体紹介】子育て中の母親が活動の中核となり行政と連携して地域子育て支援センターや家庭教育支援、子育て情報の提供などに取組み、平成15年の法人化後は子育て支援センター・つどいの広場・市内2館の児童センターの受託運営も行なっています。全国各地に提供する父親支援事業、国際NGOや大学と協働している東日本大震災被災地支援など、子育てNPOとして埼玉県を超えて活動しています。

【事業の概要】「少しでも子どもを預けたい」という母親達の思いを捉え保育ニーズに応え、「子どもの預け合い」を取り入れた次世代型サークル活動「なかまほいく」も3年度目となり、新座市以外の他地域でも試行、普及型への確立と持続可能な事業モデルの構築を目指しました。平成25年度は、埼玉県「子育て助け合いの仕組み推進事業」に採択され、10団体の実施のサポートを行ないました。フォーラムを開催し、各団体の取組をシェアする経験交流の場も設けました。また、サイトの充実化やSNSの利用等、ICTの活用も強化し、広報と啓発にも努めました。今後は更に各地での「なかまほいく」の機運が高まるよう活動していきます。



素敵に加齢する団地をめざす「新生ハイツ35年プラン」の策定と事業の推進

特定非営利活動法人グリーンオフィスさやま(狭山市)

【団体紹介】「安心して楽しく住み続けられる街の実現」を目的に、環境保全活動支援(緑地の管理運営、わくわく自然園の管理運営、生ごみリサイクルなど)、地域活性化支援(楽農クラブの運営、各種工作物の製作、遊びの出前など)、情報化支援(印刷物の企画・編集・印刷、パソコン教室の開催、催しのビデオ収録・編集など)、福祉活動支援(有償生活支援サービスなど)、住宅管理支援(管理組合活動やコミュニティづくり)に取り組んでいます。

【事業の概要】高齢世代はもとより若い世代にとっても安心かつ楽しく住み続けられるコミュニティの維持・発展という地域課題を解決するため、「素敵に加齢する団地をめざす一新狭山ハイツ35年プランの策定と事業の推進」に取り組みました。

3年度目の平成25年度は、たまり場機能の強化を目指した「食品営業許可を取得してコミカフェ・ココベリーを本格稼働」、住民福祉の向上を目指した「買物支援サービスの実施」や「ミニ野菜市の開催」、環境の付加価値化を目指した「里親制度によるふれあい花壇の拡充」、文化的環境の向上を目指した「乳幼児育児サークル・たまごルームによる本の読み聞かせや手作り遊びの開始」、情報発信機能の強化を目指した「ハイツの魅力のアピールしたメッセージの配布」などに取り組みました。



効果的・効率的・魅力的な学習による市民の救急医療リテラシー向上事業

特定非営利活動法人救急医療の質向上協議会(越谷市)

【団体紹介】当法人の通称「CATS(キャッツ)」は、Caregiver Associates for Total Satisfaction in Acute Medicineを略したものです。Caregiver(ケアギバー)とは、病院、介護施設、在宅ケア、屋内外を問わず、「医療・介護・応急手当を提供する人」を意味しています。救急現場では、「もっと早く正しい対処をしていれば最悪の事態にはならなかった」ということが数多くあります。私たちはこのような事態を撲滅するため、医療関係者はもとより一般の方へも傷病に迅速かつ適切に対応するためのトレーニングを提供しています。

【事業の概要】食物や虫刺されのアレルギー反応によっておこるアナフィラキシーショック、熱中症や窒息などの応急処置、急な心停止をきたす代表的な疾患や脳卒中の早期発見も含め、市民が遭遇する様々な症例に対応できるようなオリジナル市民向け教材を作成し、それらを使用した講習会を企画運営、市民の医療リテラシー(※)向上を目指しました。サイエンスに基づいて作成した映像教材を使用して、訓練された市民指導者が主導となり身近な地域コミュニティの中で医療学習ができるようなプログラムを作り、それを医療従事者が支援していく体制を構築しています。



※ 医療リテラシー 急な傷病の知識、発症パターン、気づき方、気づいた時にとるべき行動についての知識、実際に行動するスキル

発見！秩父地方の養蚕業と歴史的建造物群

特定非営利活動法人文化遺産保存のための映像記録協会(さいたま市)

【団体紹介】 後継者問題で継承が難しい無形文化財や保存・維持することが困難な有形文化財の映像制作を通して記録・保存し、更に制作した映像を活用することにより、文化遺産保存の必要性を喚起・啓発する活動をしています。平成23年度から平成25年度まで「発見！秩父地方の養蚕業と歴史的建造物群(解説と映像による、子供達を中心とした、郷土愛の育成と文化財保護意識の啓発)」という事業で助成を受けました。平成24年度に「秩父はカイコの王国だった」というDVDを完成し、平成25年度には秩父地区の小学校での上映会や諸活動を実施しました。

【事業の概要】

○秩父地区の教育現場(小学校3校、クラス数5クラス)でDVD上映会を行い、子供達の意見・感想を聴取するためにアンケート調査を行いました。

(秩父市立西小学校10/24、秩父市立第1小学校11/18、秩父市立原谷小学校11/26)

アンケート調査の結果：

◎自分達の周りに素晴らしい有形・無形の文化財があることが分かった(約96%)。

◎秩父の素晴らしさがわかり、秩父に生まれ育って良かったと思ひ、秩父を誇りに思う気持ちが強くなった(約97%)。

○10月6日にNPOの活動として実施している「テクテク探検隊」の秩父版として、養蚕農家、秩父神社、秩父銘仙館、秩父の有形文化財を訪れる「養蚕業・織物業や文化財の専門家による現地説明会」を実施しました(参加者12名)。



NPO元気なまちづくり助成事業

高齢者・障害者の憩いの場(カフェオハナ)の開設事業

特定非営利活動法人オハナ(さいたま市)

東岩槻の県営諏訪山下団地の側に「カフェオハナ(すわの家)」をオープンしました。

かつてここは、子供達の多い、若く活気溢れる地域でした。今はその世代が親になり、高齢化で団地は独居世帯が増え、かつて賑わっていた商店街もシャッターや空地が目立つようになりました。また、岩槻区は障害者の通所施設が少なく、他地区・他市へ通所せざるを得ない状況で、かねてからこの諏訪地区で高齢者や障害者が“ホッとできる憩いの場”を作ることが私たちの念願でした。



私たちオハナは、これまで、地元でとれる農産物の加工品作りや販売で地域の高齢者や障害者の交流の場を作ってきました。「カフェオハナ」では、仲間と育てた無農薬野菜にこだわったメニューを、さいたま市障害者授産支援アドバイザーの松原先生の監修を受け提供します。また、地域住民福祉講座を開催して介護予防の知識を深めたり、障害児・者家族とのおしゃべり会を開き、楽しく交流できるカフェにしたいと考えています。

今回の整備事業でキッチンやカウンターの設置、入口やトイレのバリアフリー化をすることができました。誰もがホッとできる地域の情報ステーションになると期待しています。



中核的NPO育成事業

中間支援NPO法人（※）が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成を行い、NPO法人の認定・仮認定の取得を支援しました。3コース、計42法人に対し個別支援を行いました。

※中間支援NPO法人・・・他のNPO法人や市民活動の支援を行うNPO法人

中間支援NPO法人	個別支援事業の内容(コース)
<認定NPO法人・県指定NPO法人> 特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター (さいたま市)	①認定・県指定NPO法人申請支援 ②会計事務・報告書作成等「事務局」強化支援
<認定NPO法人・県指定NPO法人> 特定非営利活動法人メイあさかセンター (朝霞市)	③認定等取得支援セミナー・認定等取得支援個別訪問

地域の共助社会づくりの担い手支援事業

NPOが地域において共助社会づくりの担い手としての役割を担うため、知識の習得や問題解決能力の向上が図られるよう、各地域振興センターが事業を企画し実施しました。

地域振興センター	テーマ・講師	開催日・場所
南部地域振興センター	「NPOパワーアップ講座 指定NPO・認定NPOになろう」 (特)メイあさかセンター 代表理事 尾池富美子 氏、共助社会づくり課職員	H25年11月20日(水)14:00～16:00 川口総合文化センターリリア
南西部地域振興センター	「効果的なチラシの作り方講座」 (特)さいたまNPOセンター 理事 大工原潤 氏	H25年11月21日(木)13:30～16:00 朝霞市産業文化センター
東部地域振興センター	「市民活動わくわくシンポジウム～ひろげよう！つなげよう！はばたこう！～」 平井信行 氏(気象予報士)他	H26年2月15日(土)13:00～17:00 越谷市市民活動支援センター
川越比企地域振興センター	「協働で地域を元気に！ 講義&異業種交流会」 IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所) 代表 川北秀人 氏	H25年10月24日(木)17:00～20:30 埼玉県川越地方庁舎
川越比企地域振興センター 東松山事務所	「相手に伝わる広報のコツ～行列のできる講座とチラシの作り方～」 (特)男女共同参画おおた 理事長 坂田静香 氏	H26年1月27日(月)13:30～16:00 埼玉県東松山地方庁舎
西部地域振興センター	「NPO法人初心者向け会計講座～会計処理の苦手意識をなくそう！～」 (特)NPO支援の税理士ネットワーク 理事 税理士 加藤達郎 氏	H26年2月6日(木)13:00～16:30 埼玉県所沢地方庁舎
利根地域振興センター	「よくわかる活動計算書の作り方講座&交流会」 中村元彦 氏(公認会計士)	H26年2月21日(金)9:30～12:00 市民プラザ加須
北部地域振興センター	「高校生レストランの仕掛け人が語る『働くって素晴らしい！』」 岸川政之 氏(三重県多気町 まちの宝創造特命監、「高校生レストラン」仕掛け人)	H25年7月19日(金)18:30～20:30 深谷市民文化会館
北部地域振興センター 本庄事務所(共催)	「北部地域まちづくりNPO等交流会～観光のカスマから住民参加のまちづくりを学ぶ!」 市村良三 氏(長野県小布施町町長)他	H25年11月30日(土)13:30～16:30 立正大学アカデミックキューブ
秩父地域振興センター	「伝える力養成講座」 (特)さいたまNPOセンター 理事 三浦匡史 氏	H26年3月21日(金)13:30～16:30 埼玉県秩父地方庁舎

平成26年度 NPO基金事業の紹介

平成26年度にNPO基金を活用して行う事業は以下のとおりです。

各事業の詳細については共助社会づくり課へお問合せください。ホームページ「NPOコバトンびん」にも募集要項等を掲載しています。(※「NPOコバトンびん」については裏表紙をご覧ください)

事業名	事業の概要
共助社会づくり支援事業	NPO法人が市町村を含む3主体以上で連携し、地域課題を解決するために実施する取組に対して助成します。 【補助率】補助対象経費の4/5以内 【助成枠】100万円×5法人
NPO活動サポート事業	分野希望寄附金を原資として、既存事業の拡大発展や新規事業の立ち上げを行う団体に対して助成します。 ◎分野指定枠 【補助率】補助対象経費の4/5以内 【助成枠】(20~80万円)×5法人 H26年度の募集分野:「まちづくり」「環境保全」「災害救援・地域安全活動」「子どもの健全育成」「みどりと川の再生」 ◎ネーミング事業 【補助率】補助対象経費の10/10以内 【助成枠】(20~50万円)×11法人 ①一般財団法人さいたま住宅検査センターまちづくり・住環境向上事業 (まちづくり) ②株式会社富士薬品ドラッグセイムス環境保全支援事業 (環境保全) ③正和工業株式会社省エネ事業で環境保全事業 (環境保全) ④武蔵野銀行子育て支援事業 (子どもの健全育成) ⑤Sankeiキッズ募金子育て振興事業 (子どもの健全育成) ⑥キリンビールマーケティング株式会社埼玉支社地産地消・食育応援事業 (地産地消・食育) ⑦金紋世界鷹みどりと川の再生環境保全事業 (みどりと川の再生)
みんなでサポート事業	NPO基金登録団体の日常の活動を、団体希望寄附金を原資として助成します。団体希望寄附を受けた基金登録団体は、「みんなでサポート事業」(4月募集・9月募集・12月募集)に応募することで助成を受けられます。
H26新規事業 「プロジェクト×共助」支援事業	「3大プロジェクト(①埼玉エコタウンプロジェクト、②埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、③健康長寿埼玉プロジェクト)」及び「川のまるごと再生プロジェクト」の推進に寄与する事業に対して助成します。 【補助率】補助対象経費の10/10以内 【助成枠】(20~100万円)×11法人
NPO元気なまちづくり助成事業	NPOの活動拠点の整備事業や地域資源の活用事業に対して助成します。 【補助率】補助対象経費の4/5以内 【助成枠】(50~200万円)×2法人
中核的NPO育成事業	NPO法人の認定・仮認定取得の促進を図るため、中間支援NPO法人(※)が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成します。 ※中間支援NPO法人:他のNPO法人や市民活動の支援を行うNPO法人
地域の共助社会づくりの担い手支援事業	共助の担い手としてのNPOの事業遂行能力、課題解決能力の向上が図られるよう、各地域振興センターが支援します。





NPO基金を支える3つの寄附方法



一般寄附

広くNPO活動の推進のために活用されます。

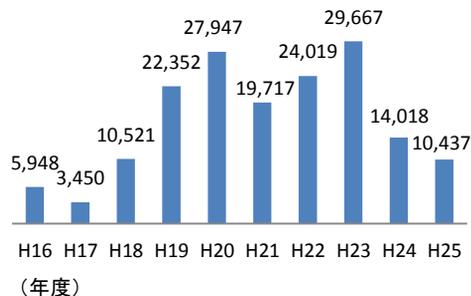
<一般寄附の推移>

(単位:千円)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	累計
2,958	2,381	3,146	2,746	13,613	1,487	2,316	663	1,336	1,841	32,487

埼玉県NPO基金への寄附額推移

(単位:千円)



分野希望寄附

特定非営利活動促進法(NPO法)に定める活動分野をもとに、支援したい分野を指定する寄附方法です。

「NPO活動サポート事業」、「『プロジェクト×共助』支援事業」の原資となります。50万円以上の寄附の場合は、下記★印の付いた分野のように、具体的な活動分野も指定できる「NPO活動サポート事業 ネーミング事業」を利用することができます。

保健・医療・福祉

社会教育

まちづくり

学術・文化
芸術・スポーツ

環境保全

災害救援

地域安全

人権・平和

国際協力

男女共同参画

子どもの健全育成

情報化社会

科学技術

経済活動

職能開発
・雇用拡充

消費者保護

NPO支援

観光振興

農山漁村
・中山間地域支援

地産地消・食育★ みどりと川の再生★ 災害救援・被災者支援★

<分野希望寄附の推移>

(単位:千円)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	累計
2,990	1,069	1,001	2,413	3,198	9,726	11,901	12,082	4,212	6,133	54,725

団体希望寄附

基金登録団体(※)の中から、支援したい団体を希望できる寄附方法です。

「みんなでサポート事業」の原資になります。

指定された団体が「みんなでサポート事業」に応募し、助成を受けることで活用されます。

ただし、助成にあたり審査があり、一年度内の助成金額の上限は200万円となります。

なお、団体希望寄附のうち一部の寄附金は一般寄附として受入れ、広くNPOの支援に活用します。

※基金登録団体は、ホームページ「NPO情報ステーション」(NPOコバトンびん)で確認できます。

URL <http://www.saitamaken-npo.net/>

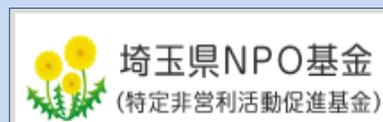
【トップページ】

情報は随時更新しています。団体希望寄附先として指定したい団体が登録されているか、事前に確認してください。電話(TEL:048-830-2828)でも確認できます。

【埼玉県NPO基金】

【「基金登録団体」のご紹介】

このバナーが目印です。



<団体希望寄附の推移>

(単位:千円)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	累計
—	—	6,374	17,192	11,136	8,504	9,802	16,922	8,469	2,463	80,862





皆様からの寄附をお願いします

【税制上の優遇措置】

埼玉県NPO基金への寄附は、地方公共団体(埼玉県)への寄附として税制上の優遇措置が受けられます。 ※詳細については、**埼玉県税務課(TEL 048-830-2664)**までお問合せください。

【感謝状・協力証の贈呈】

寄附金額が個人で10万円、団体で50万円以上の場合は感謝状、個人・団体を問わず、1万円以上の場合は協力証を贈呈します。



埼玉県立近代美術館所蔵の名画をデザインした協力証です。

【バナー広告掲載可能】

寄附金額が団体で50万円以上の場合、ホームページ「埼玉県NPO情報ステーション」(NPOコバトンびん)にバナー広告を掲載することができます(要申込)。

【ネーミング事業】

分野希望寄附への寄附金額が個人・団体で50万円以上の場合、県の実施する助成事業の愛称を付けることができます(要申込)。

埼玉県NPO基金の状況やNPO活動など NPOに関する情報が満載のホームページ

県内NPO法人の情報を検索できます。



埼玉県NPO情報ステーション

NPOコバトンびん

<http://www.saitamaken-npo.net/>

県内のNPO活動や共助の取組に関する様々な情報をfacebookで発信中!

Saitama 共助Style

<http://www.facebook.com/saitama.kyojo.style>

お問合せ先

埼玉県 県民生活部 共助社会づくり課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 (埼玉県庁 第三庁舎3階)

電話 048-830-2828 / FAX 048-830-4751